

若手職員の日

電波で明るい未来を創りたい。

瀬田 尚子 | 総合通信基盤局 電波部電波政策課第一計画係長



平成19年4月 総務省入省
平成19年4月 情報通信政策局通信規格課
平成20年7月 現職

ある日のスケジュール

- 7:30 ●起床 ▶▶▶▶▶ 今日、午前中に会議があるので少し早目に起床。朝ごはんはできるだけ食べるよう心がけています。
- 9:15 ●登庁 ▶▶▶▶▶ まずは、新聞やネットに目を通して、電波関連や情報通信関連の記事を確認します。続いて、メールのチェックをしていきます。急な対応は必要なさそうで一安心。
- 9:45 ●会議準備 ▶▶▶▶▶ 担当している会議を準備。会場や資料のセッティングは昨夜のうちに終わらせているので、構成員・傍聴者へのご案内やTVクルーへの対応などを行います。
- 10:30 ●会議開始 ▶▶▶▶▶ 「ホワイトスペース」という新たな電波の活用促進を目指し、環境整備や運用のルールづくりについて検討しています。会議中は、参加者の方々の貴重なご意見を記録します。
- 13:30 ●対応業務 ▶▶▶▶▶ メールを片付けつつ外部からのお問い合わせに対応。担当する業務について外部から質問です。誤解の生じないように丁寧な説明を心がけます。
- 16:00 ●資料作成等 ▶▶▶▶▶ 研修で来日される諸外国の方々向けに講義用の資料を作成。講師として日本の周波数政策についてお話しするので、その資料を準備します。
- 19:00 ●夕食 ▶▶▶▶▶ 職場の同僚と晩飯。仕事が残っているので、省内の食堂ですませることとします。
- 21:30 ●退庁 ▶▶▶▶▶ 今日は忙しい一日でしたが、会議も無事に終わり気持ちよく帰れます。
- 23:30 ●就寝 ▶▶▶▶▶ 早く寝られる時は寝ます。社会人は体調管理も仕事のうちです。



学生時代、日本の抱える社会問題を新たな技術で解決して、あらゆる人にとって安心で快適な社会を創りたい、と漠然と思っていました。官庁訪問などを通して、ICT行政の面白さや今後の可能性だけではなく、この国を良くしたいという熱い思いを秘めて働く人々に魅せられました。

現在、私は、地域活性化や新たな技術革新を導き、ひいては新産業を創出するための新たな電波利用ビジョンの策定に携わっています。このような電波政策は、日本の社会や産業への影響が大きいため、責任は重いですが、優秀な先輩や同僚に支えられ日々の業務に取り組んでいます。

みなさんも一緒に日本の未来を創ってみませんか。

ICTとともに。

難波 雅善 | 情報通信国際戦略局 情報通信政策課主査

ある日のスケジュール

- 8:00 ●起床 ▶▶▶▶▶ 朝のニュースに耳を傾けながら身支度。
- 9:15 ●登庁 ▶▶▶▶▶ 電車で、研修で知り合った他省の同期と偶然会い、雑談。テーマが国会情勢なのは職業病か。
- 10:45 ●外部の方と意見交換 ▶▶▶▶▶ 民間企業の方から、デジタルサイネージの動向を教えていただく。総務省はどう関わるべきか。
- 11:30 ●予算事業の監督 ▶▶▶▶▶ 調査研究を委託している企業から進捗状況聞き取り。次回までの具体的な目標を設定。
- 12:00 ●昼食 ▶▶▶▶▶ 職場の仲間と昼食。省内の食堂で。
- 13:00 ●書類整理 ▶▶▶▶▶ 仕事を一生懸命しているとどうしても整理整頓がおろそかになりがちなので軽く書類整理。
- 13:15 ●資料作成 ▶▶▶▶▶ 上司の指示で、省内の連絡会議で使う資料の作成。要点を押さえつつ、簡潔な資料を作るのは非常に難しい。
- 14:30 ●会議傍聴 ▶▶▶▶▶ 他府省の会議を傍聴。3時間の長丁場だが、今後の政策に関わりそうなところは聞き逃さないように集中。
- 18:00 ●課内ミーティング ▶▶▶▶▶ 会議での政務三役の発言要旨や仕事の進捗、近日中の予定について報告。
- 19:30 ●資料作成 ▶▶▶▶▶ 他府省からの問い合わせについて、関係課の回答を取りまとめ、整理のうえ、上司のOKをもらって、提出。
- 22:00 ●帰宅 ▶▶▶▶▶ 今日はまっすぐ帰宅。同フロアの同期や後輩を誘って飲みに行くことも。



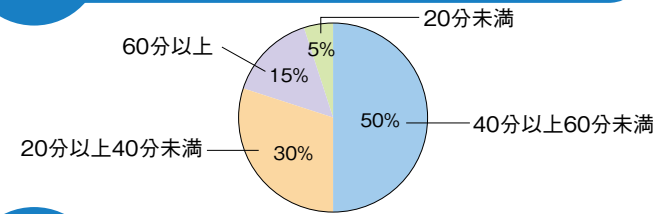
平成20年4月 総務省入省
平成20年4月 総合通信基盤局電波部基幹通信課重要無線室
平成22年7月 現職

私は、情報通信関係3局の全体的な企画調整を行う課で、情報通信技術（ICT）の利活用を阻む規制等の見直しに係る業務や電子行政関係の業務を担当しています。

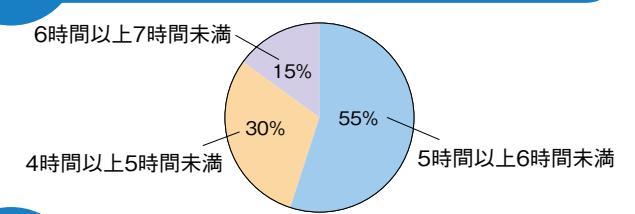
働いてみて改めて実感するのは、ICTは、技術革新のスピードが非常に速いこと、また、多くの分野と密接に関係しているということです。日々、目の前に起こる状況変化に素早く対応すること、また、他府省等の関係者と適切に調整することが必要です。ひとつひとつの仕事に人・社会との関わりがあります。やりがいのある仕事を求めている君。ぜひ、総務省へ。

若手職員へのアンケート

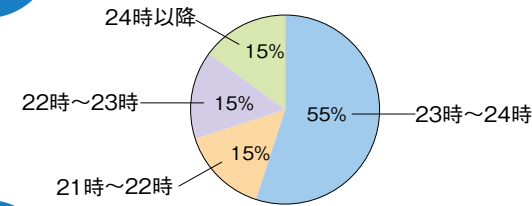
Q1 通勤時間はどれぐらいですか？ (選択式)



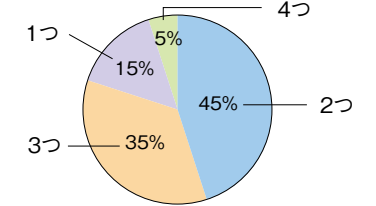
Q2 平日の平均睡眠時間はどれぐらいですか？ (選択式)



Q3 平均の帰宅時間は？



Q4 官庁訪問はいつ回りましたか？ (選択式)



Q5 総務省に決めた理由は？

- 情報通信で日本を引っ張っていくには、民間よりも国家公務員（総務省）がベストだから。
- 将来のICT戦略に携わってみたいから。
- 情報通信には日本を変える力があると思ったため。

Q6 総務省の魅力は？

- 日本の情報通信行政を担い、政策を打ち出しているところ。
- 最先端のトピックを扱うことができ、毎日が刺激的なところ。
- 理系の知識が求められる場所があること。

Q7 総務省の悪いところは？

- 国民に対するアピールが足りない。もっと政策をPRしフィードバックすべき。
- 地下の食堂が合わない。(他省庁に足を運んでいる)
- 吹き抜けのせいで会議室が少ないところ。

Q8 総務省で働くために必要だと思うことは？

- やる気(多数)
- 向上心
- 体力
- コミュニケーション能力

Q9 働いてみて感じたギャップは？(いい意味で)

- 仕事をストレスと感じる事がほとんど無く、自分の予想以上にがんばれること。
- ヒマな時もあると言われてウソだと思っていたが、ホントにあった。
- 仕事のスケールが大きいところ。
- 今のところルーチンワークがまるでない。

Q10 入省以来一番印象に残っていることは？

- 自分の仕事の記事になったり、自分の書いた省令が官報に掲載された。
- 自分が作成した資料がある国の大臣へのプレゼン資料になった。
- 業界で著名な方と直接話ができること。

Q11 学生時代の経験で役に立っていることは？

- アルバイト(多数)
- バワボ
- 無し。全ては入省してからのやる気。

Q12 学生時代にやっておけばよかったこと？

- 勉強
 - 旅行or遊び
- (※見事に真っ二つに分かれました。勉強と答えた人は英語が多かったです)

Q13 休日は何をして過ごしますか？

- ごろごろ・だらだら・ぶらぶら。(多数)
- (※日々の疲れを癒しているのか充実感がありませんね^^。)

Q14 I種の試験・官庁訪問のアドバイス。

- 官庁訪問は物事を分かりやすく説明できるように心がけるといいと思います。
- 官庁訪問は志望動機を深く考えておくといいですよ。
- ひとつひとつの面接で得たものを吸収し成長していくことが大切です。

Q15 学生へのメッセージをお願いします。

- 自分が将来何がしたい、何になりたいのか、それをじっくり考えるのが就活。悔いのないように。
- 国家公務員として、総務省職員としてプライドを持ち、仕事をしたいという方、お待ちしております。
- 総務省で情報通信の将来と一緒に描いてみませんか。